

CURRICULUM

カリキュラム

1年次

身近な現代文化を知り
その背景を探る

2年次

人間の行動や社会を
より深く探る

3年次

4年次

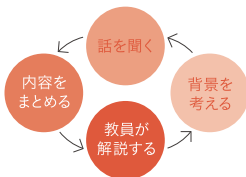
興味ある現代文化を
テーマに研究する

全学共通科目

文化社会学の学びへの入門

- 総合科目・文化社会学Ⅰ・Ⅱ
現代文化のさまざまな分野で活躍中のプロフェッショナルから、現代文化のおもしろさとその背景を学びます。

○ 授業の流れ



- 現代社会の教養を身につけ、社会的に考える
- 現代社会学論
 - 家族社会学

CLOSE UP
1

- 問題発見、報告、討論の方法
- 文化社会学基礎演習Ⅰ・Ⅱ



演習を通じて
自分で考え、
調査を進める力が
育つよ!

社会学の技法を習得
調べ方やまとめ方など、大学での学びに必要な基礎を身につける

人の行動の背景を見つめる

- 文化と社会の相互関係
- 文化社会学概論
 - 都市社会学論

- 身近な「信仰」を読み解く
- 現代宗教論

- ボランティアの限界と新たな可能性
- ボランティアネットワーク論
 - エンタテインメントの世界つくる・伝える・楽しむ方法
 - エンタテインメント論

- 大人でも「かわいい」を求める「女子」の時代
- ファッション・ビューティ論

- 売るしくみ、売れるしくみを理解する
- マーケティング論

- 「男らしさ」「女らしさ」とは何か?
- ジェンダー論

CLOSE UP
3

- 観察、アンケート、インタビュー調査の方法
- 社会調査入門

- インタビュー調査の実践
- フィールドワーク演習

- パソコンを活用した調査と発表の方法
- 文化社会学情報演習

- 図解とプレゼンテーションの技術
- マルチメディアの方法

CLOSE UP
2

文化を通して社会を考える

ゼミや専門科目でこれまでの学びを振り返りつつ、さまざまな現代文化を通して人間の行動や社会のしくみをより深く見つめます。

- 社会学的思考の基本を学ぶ
- 理論社会学

- 身近なテーマから考える現代のコミュニケーション
- コミュニケーション論

- 流行と消費の文化を探る
- 文化社会学論A
 - 何でも文化遺産にしてしまう現代社会
 - 文化社会学論C

- スポーツという文化現象
- 文化社会学論D
 - 若者の視点から社会問題について考える
 - 文化社会学論E

- メディアにおける女性表現について
- 文化メディア論A
 - 文化メディア論B
 - 文化メディア論D

- 文化社会学演習Ⅰ・Ⅱ(ゼミ)

演習(ゼミ)は自分が関心のあるテーマを決め、各自が掘り下げて発表する授業です。学生同士が刺激し、高めあう場です。

友だちの研究を知って
発見が生まれることも!



仲間とともに
興味あるテーマを追究

【卒業論文・卒業制作】
自分なりの視点で1つのテーマを追究する

■ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ

最も興味ある分野を選び、研究テーマを決定します。少人数のゼミで個別指導を受けながら、本や資料を読む、インタビューで生の声を集める、雑誌や新聞の記事を分析するなど、実際に調査を行い、自分なりの答えを見つけます。

卒業研究テーマ例

- ・銭湯経営のエスノグラフィ
- ・なぜ、神戸に喫茶店文化が根付いたのか
- ・ブレ花さんと卒花さん
—SNS時代における花嫁の長期化—
- ・「顧客満足」の接客条件
〜つぶやきから見る消費社会〜
- ・インスタグラムは女子大生のメイク選びをどう変えたのか?
- ・ギャルは消滅してしまったのか
- ・YouTube化する社会
- ・ドラマ『わたし、定時で帰ります』から見る現代女性の人生観
- ・ポケモンに学ぶコミュニケーションカ
- ・エンターテインメントにおける日本文化の課題
—ディズニーとBTS—
- ・深刻化するチケット不正転売
〜音楽業界とファン心理から考える〜
- ・「アトラクション」としてのタピオカドリンク

卒業研究で
ひとつのテーマを選択